

■科目名			
障害児の発達検査法 Assessment for Supporting Development in Children with Disabilities			
■開設年度	■区分	■学科名	■分類
2021	専修専門科目	特別支援教育	
■単位数	■履修期	■履修条件	■開講期
2	6期		後
■担当教員			
雲井未敏			
■代表教員名及び連絡先等			
kumoi@edu.kagoshima-u.ac.jp			
■オフィスアワー			
水曜4限			
■講義の概要（目的・内容・方法）			
各種発達検査の内容と方法について具体例を通して学ぶ。それに基づき、児童生徒の認知特性の理解と、適切な支援を行うための方法を習得することを目的とする。はじめに、アセスメントの概要と心理検査の理論的背景について述べ、その後各種検査の具体的な利用方法を紹介する。			
■授業の到達目標及びテーマ			
アセスメントの理論と実際および支援にいかす方法の習得。			
■授業計画			
全8回の授業を対面形式で実施する。対面授業の要件を満たすことが難しい場合は遠隔（Zoomによるリアルタイム配信）で行う。 (1) 本科目の目的・内容等のガイダンスと導入授業 (2) アセスメントと個別の指導計画（PDCAサイクル） (3) 心理検査の種類と目的 (4) 正規分布の性質と標準化テストの意義 (5) ビネー式知能検査の特色と内容 (6) ウェクスラー式知能検査の特色と目的 (7) ウェクスラー式知能検査の方法の実際 (8) ウェクスラー式知能検査の分析と基本的解釈 (9) K-A-B-C検査の特色と目的 (10) K-A-B-C検査の方法の実際 (11) K-A-B-C検査の分析と基本的解釈 (12) 種々の発達検査（言語発達、乳幼児の発達検査等） (13) スクリーニングテストの種類と目的・方法 (14) アセスメントに基づいた支援の進め方 (15) 検査者の心得と義務			
■授業外学習（予習・復習）			
[予習]授業内容の理解に必要なかつ授業内では解説しない基礎的な事項を指示するので、授業前までに理解しておく。 [復習]授業で学んだ内容を振り返り、要点を整理する。			
■受講要件			
特別支援学校教員免許状を取得する履修計画を進めている者が望ましい。			
■成績の評価基準			
学習活動への取組み状況（30%）、発表（30%）、レポート（40%）			
■教科書・参考書			
教科書は特に指定せず、必要に応じて講義資料をmanabaで配信する。			
■教師としての資質能力に関するチェック項目			
9. 学習者の心理・発達に関する理解 【C学習者理解】子どもの発達や心理など、子ども理解のための基礎的な知識を身に付けており、それらを生かして子どもの発達を分析することができる 11. 特別支援教育に関する理解 【C学習者理解】特別支援教育に関する基本的な知識を身に付けており、それを生かした具体的な指導・支援の			

在り方を構想することができる
アクティブ・ラーニング
グループ・ディスカッション; プレゼンテーション;
アクティブ・ラーニング (その他)
アクティブ・ラーニング(授業回数)
15回中10回
■実務経験のある教員による実践的授業
■その他
授業形態（対面・遠隔）については、新型コロナウイルス感染症の影響、その他の理由により変更する場合がある。